

# 貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>流動資産</b>			
現金預金	0	0	0
<b>流動資産合計</b>	0	0	0
<b>固定資産</b>			
基本財産			
普通預金			0
定期預金	79,720,000	79,720,000	0
投資有価証券	48,280,000	48,280,000	0
<b>特定資産</b>			
国際交流資金	6,203,382	4,225,487	1,977,895
地域活性化資金	7,809,534	9,432,023	△ 1,622,489
国際交流事業特定費用準備金	0	0	0
特別演奏会開催費用準備金	0		0
<b>固定資産合計</b>	142,012,916	141,657,510	355,406
<b>資産合計</b>	142,012,916	141,657,510	355,406
<b>II 負債の部</b>			
<b>流動負債</b>			
未払法人税等	0	0	0
<b>流動負債合計</b>	0	0	0
<b>負債合計</b>	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>指定正味財産</b>	14,012,916	13,657,510	355,406
(うち特定資産への充当額)	14,012,916	13,657,510	355,406
<b>一般正味財産</b>	128,000,000	128,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(128,000,000)	(128,000,000)	0
<b>正味財産合計</b>	142,012,916	141,657,510	355,406
<b>負債及び正味財産合計</b>	142,012,916	141,657,510	355,406

## 財務諸表に対する注記

### 1.重要な会計方針

(1)有価証券・投資有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

満期保有目的の債券については購入時の取得価額による

②満期保有目的の債券以外の有価証券

時価のないもの 総平均法による原価法によっている

(2)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている

### 2.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	0	0	0	0
定期預金	79,720,000	0	0	79,720,000
投資有価証券	48,280,000	0	0	48,280,000
小 計	128,000,000	0	0	128,000,000
特定資産		0	0	
普通預金	13,657,510	865,300	0	14,012,916
小 計	13,657,510	865,300	0	14,012,916
合 計	141,657,510	865,300	0	142,012,916

### 3.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
普通預金	0	(0)	(60,000,000)	(0)
定期預金	79,720,000	(0)	(19,720,000)	(0)
投資有価証券	48,280,000	(0)	(48,280,000)	(0)
小 計	128,000,000	(0)	(128,000,000)	(0)
特定資産				
国際交流資金				
普通預金	6,203,382	(6,203,382)	(0)	(0)
地域活性化資金				
普通預金	7,809,534	(7,809,534)	(0)	(0)
国際交流事業特定費用準備金				
普通預金	0	(0)		
特別演奏会開催費用準備金				
普通預金	0	(0)	0	0
小 計	14,012,916	(14,012,916)	(0)	(0)
合 計	142,012,916	(14,012,916)	(128,000,000)	(0)

### 4.指定正味財産から一般正味財産への振替

指定正味財産から一般正味財産への内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業実施にともなう振替額	4,870,159
※制約解除による振替額	0
合 計	4,870,159